



2017年3月期第1四半期

連結決算の概要

テルモ株式会社

代表者 代表取締役社長 新宅 祐太郎
問合せ先責任者 広報室長 大曲 昌夫

TEL : 03-6742-8550

E-mail : kouhou_terumo01@terumo.co.jp

URL : <http://www.terumo.co.jp/>

2016年8月4日

2017年3月期 第1四半期 決算概要

テルモ株式会社
常務執行役員 IR・広報室担当
北畠 一明

2016年8月4日

決算総括：為替の影響下、営業利益10%増達成

	(億円)			
	15年度Q1	16年度Q1	増減率	為替除く 増減率
売上高	1,287	1,245	-3%	+5%
粗利益	690 (53.7%)	698 (56.0%)	+1%	+11%
一般管理費	417 (32.5%)	403 (32.3%)	-3%	+6%
研究開発費	79 (6.1%)	81 (6.5%)	+3%	+10%
営業利益	194 (15.1%)	214 (17.2%)	+10%	+22%
(のれん等償却除く)	245 (19.1%)	259 (20.8%)	+6%	+17%
経常利益	206 (16.0%)	151 (12.1%)	-27%	
純利益	145 (11.3%)	101 (8.1%)	-30%	

期中平均レート
 USD 121円 108円
 EUR 134円 122円

- 売上高 : 為替除くベースでは、日本・海外ともプラス伸長、特にカテーテルが牽引
- 営業利益 : カテーテルの売上拡大とTCVS品質システム改善コスト減少により、二桁増益
- 経常利益 : 前年同期の為替差益（18億）に対し、今年度は差損（55億）
- 純利益 : 営業外の為替の影響を除くと、4%増益

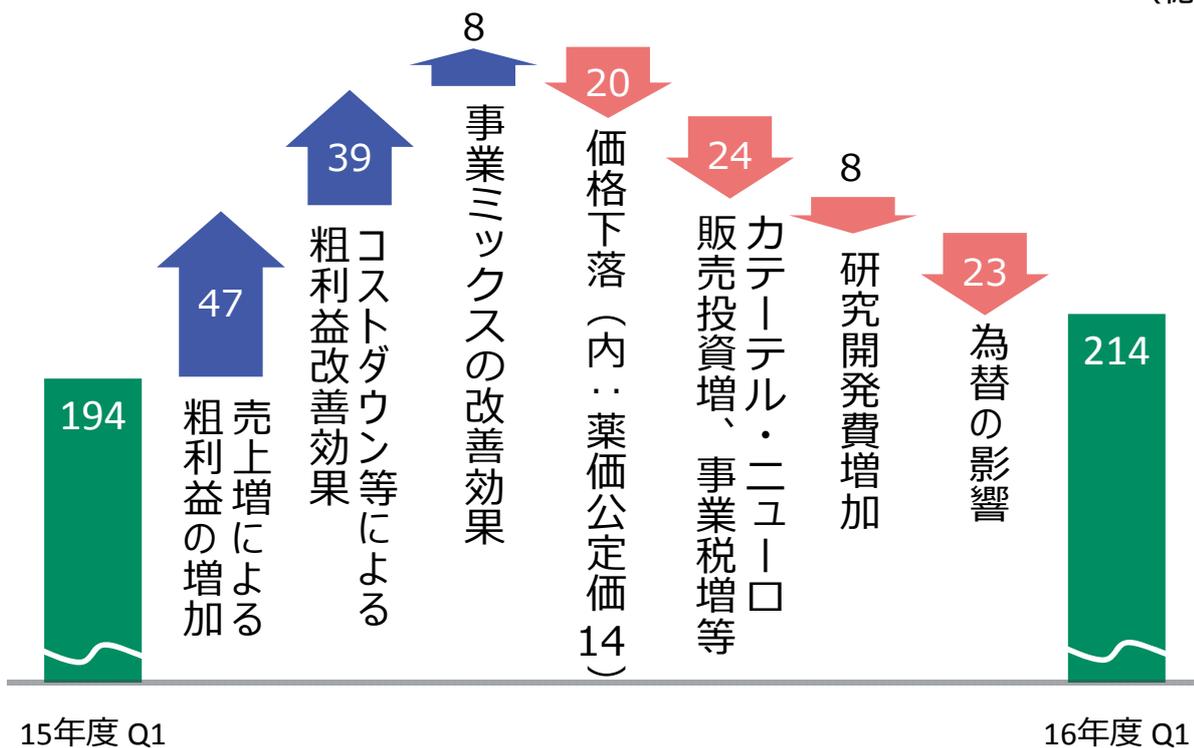
営業外・特損益・法人税

(億円)

	15年度Q1	16年度Q1	
営業外損益	11	-62	為替 15年度 +18 16年度 -55
経常利益	206	151	前同比 -27%
特別損益	+0	-0	
税前利益	206	151	前同比 -27%
法人税等合計 法人税等負担率	61 30%	50 33%	15年度Q1 過年度調整による税負担率低下
純利益	145	101	前同比 -30%

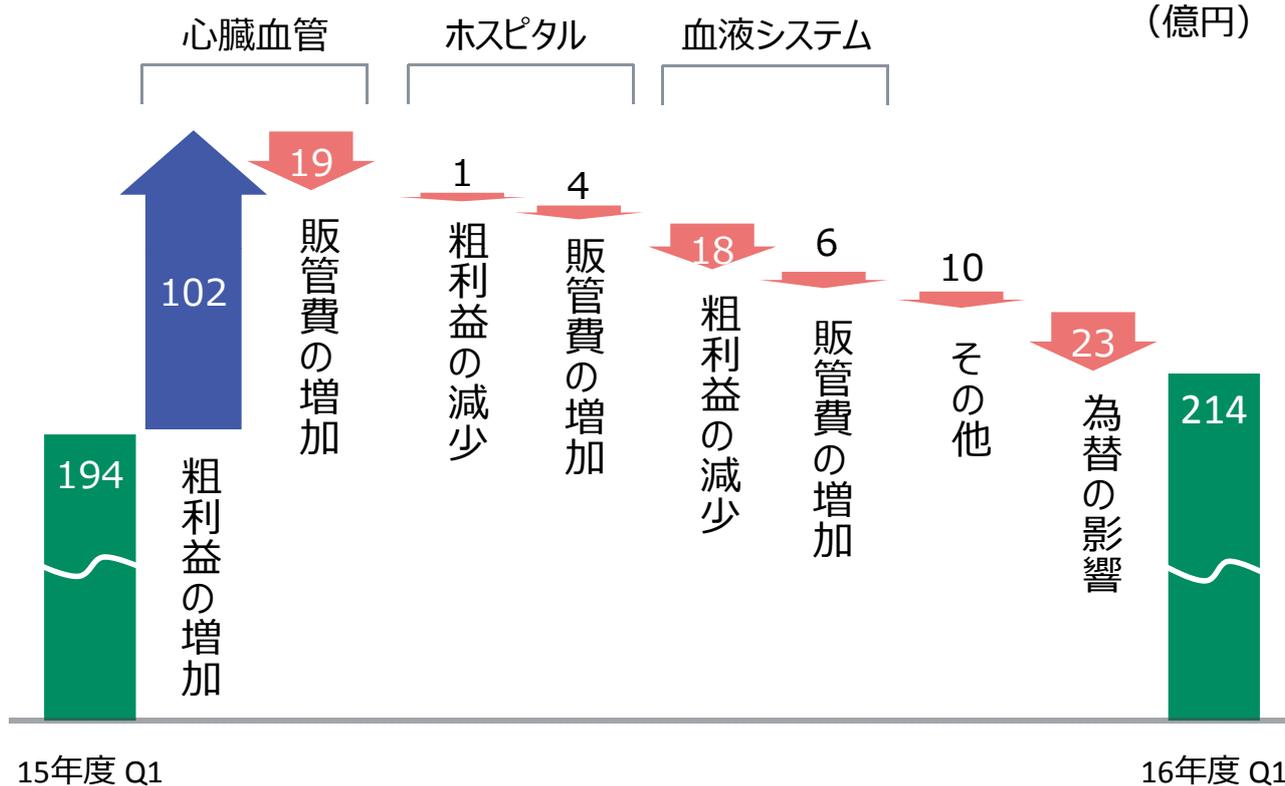
営業利益増減分析

(億円)



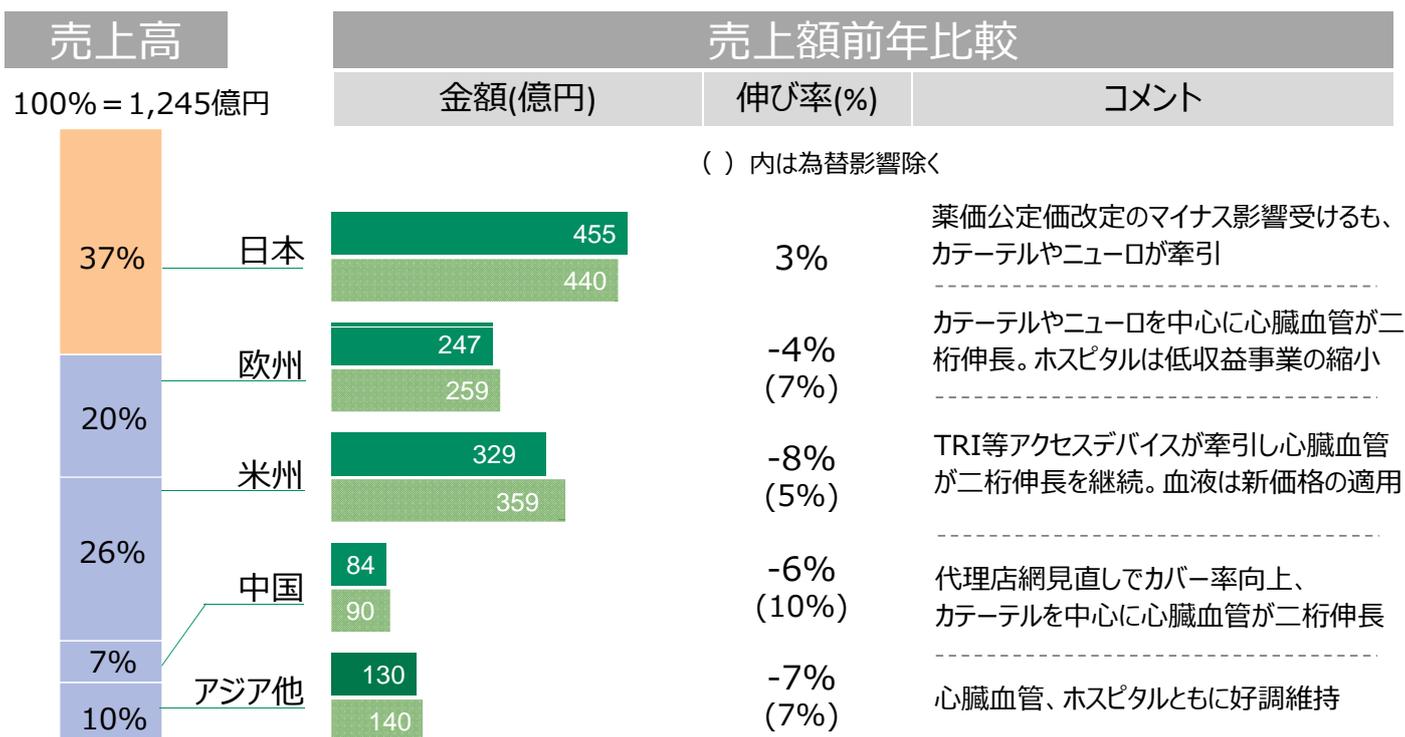
営業利益増減分析

(億円)



地域別売上高

16年度Q1
15年度Q1



カンパニー別売上高

16年度Q1
15年度Q1

売上高

100% = 1,245億円



売上額前年比較

金額(億円)	伸び率(%)	コメント
心臓血管 16年度Q1: 637 15年度Q1: 632	1% (12%)	グローバルで、コロナリー治療デバイスとアクセスデバイスが牽引。日本は、公定価改定の影響を跳ね返し、二桁伸長
ホスピタル 16年度Q1: 384 15年度Q1: 395	-3% (0%)	欧州・中南米は低収益事業縮小 アジアは好調維持 日本は輸液システム(ポンプやライン)が伸長
血液システム 16年度Q1: 224 15年度Q1: 260	-14% (-3%)	米国を中心とした血液センター向け製品の新価格適用

() 内は為替影響除く



心臓血管カンパニー：公定価改定、為替の影響受けながらも、二桁増益

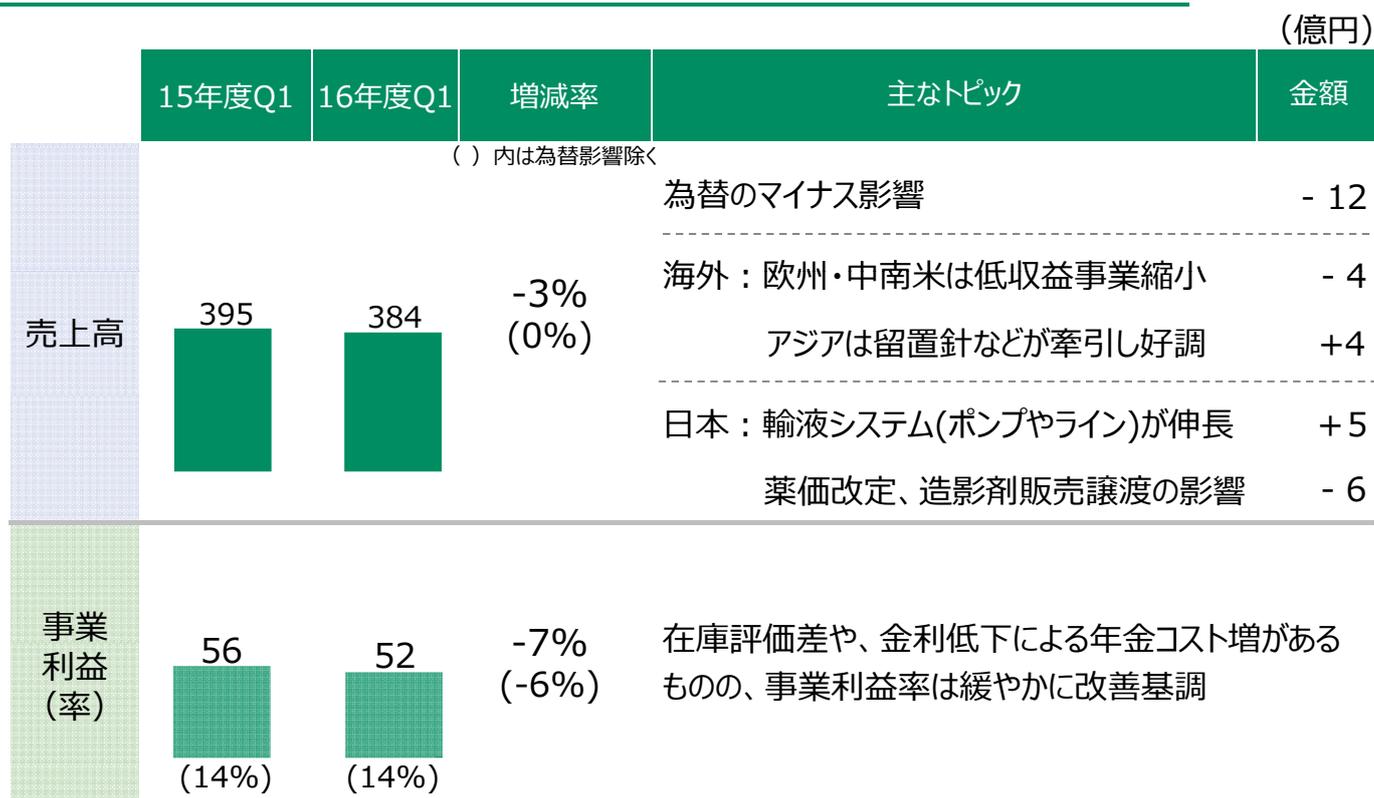
(億円)

	15年度Q1	16年度Q1	増減率	主なトピック	金額
売上高	632	637	1% (12%)	為替のマイナス影響	- 69
				日本: 公定価改定の影響を受けるも、コロナリー治療デバイス拡大	+ 15
				海外: グローバルで、コロナリー治療デバイスおよびアクセスデバイスが二桁伸長	+ 59
事業利益(率)	141 (22%)	195 (31%)	38% (60%)	高収益なコロナリー治療デバイスやアクセスデバイスへのシフトに加え、国内工場中心に継続的な原価改善 米TCVSの品質システム改善コストの減少	

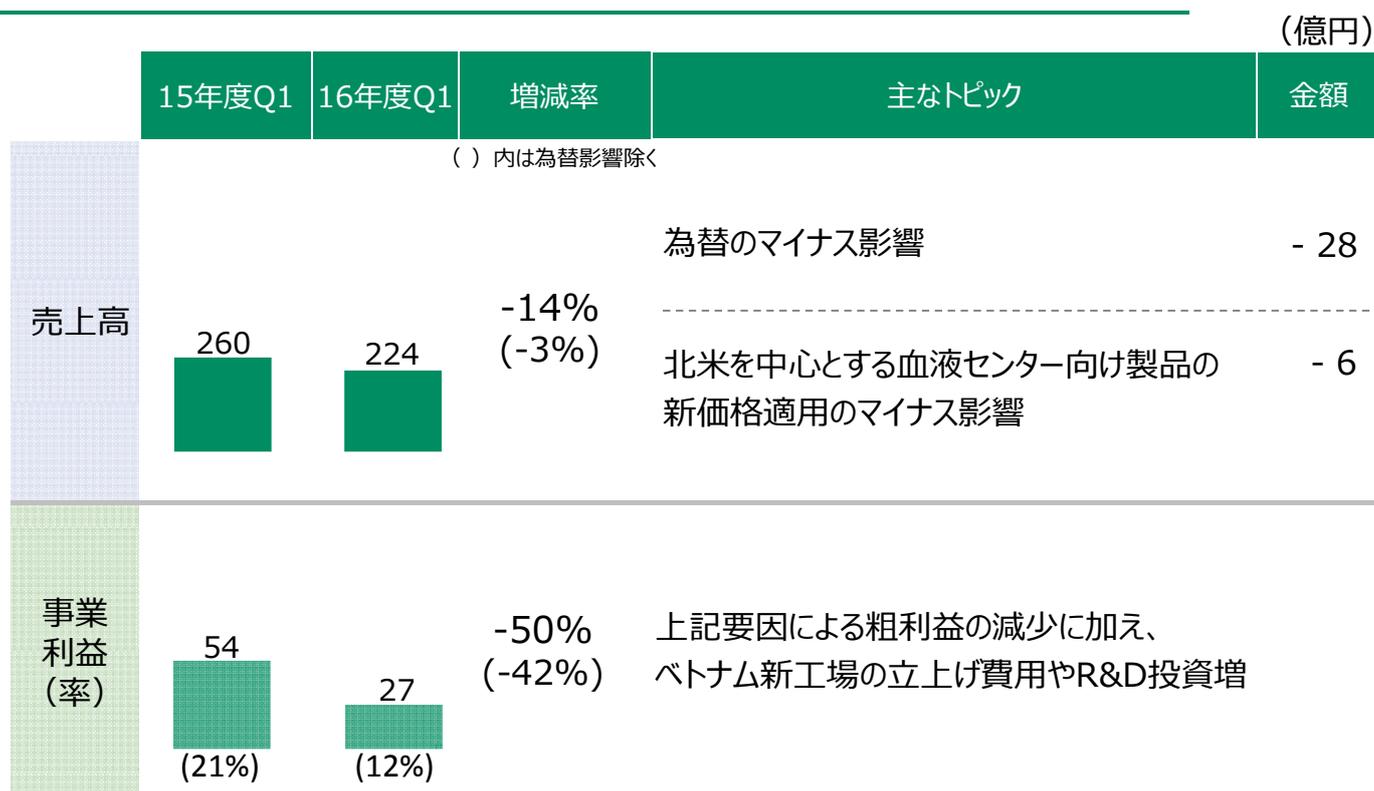
() 内は為替影響除く



ホスピタル:薬価改定や低収益事業縮小で売上減少も、収益性維持



血液システム: 海外・新価格適用や為替のマイナス影響を受け減収減益



主なトピックス

全社

- 史上最低金利で、300億円の社債発行（4月）
- 英バスケット、英国女王賞(イノベーション賞)を受賞（5月）
- 伊勢志摩サミットに「ハートシート」を出展（5月）
- 新・脳動脈瘤塞栓デバイスの米Sequent Medical社買収を発表（6月）

事業

- 再生医療等製品「ハートシート」国内発売（5月）
- TCVS社、米FDAによる販売制限が全面解除（6月）
- 国内初スプレー式癒着防止材「アドスプレー」国内承認（6月）



16年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	ローンチ
心臓	DES (Ultimaster)	◎★ 仏	済み
	DES (Ultimaster) 4.0mm品種追加	◎★ 日	
イメージング	IVUS	◎★ 日	
ペリフェラル	PTAバルーン (膝下, RX/OTW)	日・米・欧	日米:済み
	PTAバルーン (膝上・下両用,RX/OTW)	日・米・欧	日米:済み
	PTAバルーン (膝上, RX/OTW)	日・米・欧	済み
脳	プロテクションデバイス	欧	
オンコロジー	放射線塞栓ビーズ (Quirem)	★ 欧	

領域	製品	地域	ローンチ
CV	遠心ポンプ装置	亜	
再生	ハートシート	★ 日	済み
D&D	皮内投与デバイス	★ 日	
	癒着防止材	★ 日	
DM	血糖計 (フィットスマイル)	中	
血液	自動製剤化システム	★ 日	

◎ 業績貢献 大、★ イノベーション度 高



PTAバルーン3品種 日米欧(Q1)



DES「Ultimaster」フランス(Q1)

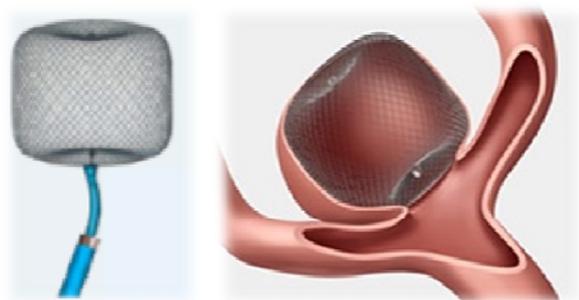


「ハートシート」(日)



Sequent Medical社の買収

■新・脳動脈瘤塞栓デバイス「WEB」



- 買収金額：最大400億円
- 市場を変える新技術
- 数年後の売上規模100億円

■FY16業績予想への影響（暫定）

（億円）

	影響額
売上高	+ 8
営業利益	- 36
純利益	- 43

- FY16は8月より連結
- 現在PPA作業中

2017年3月期 第1四半期決算 補足資料

セグメント別売上概況

(単位:百万円)

%=前年比

	2016年3月期 第1四半期累計			2017年3月期 第1四半期累計					
	日本	海外	合計	日本	%	海外	%	合計	%
TIS	7,966	35,485	43,451	9,161	15.0%	35,770	0.8%	44,932	3.4%
ニューロバスキューラー	485	5,545	6,031	743	53.1%	5,137	-7.4%	5,881	-2.5%
CV	2,361	7,984	10,346	2,410	2.0%	7,170	-10.2%	9,580	-7.4%
血管	504	2,862	3,366	474	-6.0%	2,831	-1.1%	3,305	-1.8%
心臓血管カンパニー	11,317	51,877	63,195	12,789	13.0%	50,910	-1.9%	63,699	0.8%
基盤医療器	11,794	6,872	18,667	12,100	2.6%	6,085	-11.4%	18,186	-2.6%
D&D	13,254	1,419	14,674	12,920	-2.5%	1,367	-3.7%	14,288	-2.6%
DM・ヘルスケア	5,109	1,032	6,142	5,092	-0.3%	816	-21.0%	5,908	-3.8%
ホスピタルカンパニー	30,159	9,325	39,484	30,113	-0.2%	8,269	-11.3%	38,383	-2.8%
血液システムカンパニー	2,509	23,471	25,980	2,499	-0.4%	19,888	-15.3%	22,387	-13.8%
その他	-	-	-	49	-	-	-	49	-
計	43,986	84,673	128,660	45,451	3.3%	79,068	-6.6%	124,519	-3.2%

(期中平均為替レート)

(USD1=¥121.43)
(EUR1=¥134.21)

(USD1=¥108.04)
(EUR1=¥121.88)

キャッシュ・フロー計算書(要約)

	2016年3月期 第1四半期累計	2017年3月期 第1四半期累計
営業キャッシュ・フロー	4,734	10,394
投資キャッシュ・フロー	△ 10,978	△ 6,694
フリーキャッシュ・フロー	△ 6,244	3,699
財務キャッシュ・フロー	△ 4,618	22,636
現金及び現金同等物の換算差額	1,851	△ 8,680
現金及び現金同等物の増減	△ 9,011	17,656
現金及び現金同等物の期首残高	176,662	146,927
現金及び現金同等物の期末残高	167,650	164,583

参考情報

	2016年3月期 第1四半期累計	2017年3月期 第1四半期累計	2017年3月期 見通し
研究開発費	7,856	8,080	35,500
設備投資額	8,067	6,062	39,000
減価償却費	10,867	10,662	44,000
一株当たり当期純利益(円)	38.29	27.86	144.64

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。